

みんなの4575

みんなで創るみんなのページ。すてきな作品をお待ちしています！

手空きでも 足で事する 妻器用	上山 惟裕 (高・城山台)
おいしいな 地産地消 野菜米	梅村 保次 (安・四津川)
雪景色 庭の片隅 花一輪	久米 良彦 (新・太田)
ひしひしと 寒さが凍みる 身と心	池田よし枝 (今・今津)
虹をかけ 高島しぐれ 通り雨	洞山千代江 (今・南新保)
雪ダルマ 笑う目をつけ よい年に	平井 ちく (朽・大野)
枳落葉 歩道埋めて 舞ひ散りし	八田富美子 (新・旭)
旅のバス 行きし戻りや パック酒	河原田 勝 (今・岸脇)
雲流れ 亡母は今ごろ いづこやら	伊吹 忠義 (マ・中庄)
もみじ燃 でっかい笑顔 一つ消え	桂田 治美 (今・福岡)
手芸展 手際よく編み 鍋掴み	河原田うた子 (今・岸脇)
あと一編み 母さん きつと喜ぶね	早田 弘子 (今・今津)
鮮やかな 赤きかぶらを 夫引いて	山本 節子 (朽・雲洞谷)
二〇〇九 東天元旦 陽はのぼる	梅村金次郎 (安・藤江)
早いもの 孫も来春 高校生	梅村フサエ (安・藤江)
お年玉に 一言添えて 孫を待つ	斉藤 光江 (安・今在家)
初詣 願ひ事多し この時世	八田 信子 (高・高島)
風雪に とばされ転ぶ 老人かなし	村田 ナミ (高・勝野)
木枯らしに 落ち葉しぐれの 音立てて	栗津 満子 (マ・山中)
お正月 子孫ひ孫と 初笑い	栗津 秀 (マ・山中)

風吹きて 散りし落ち葉の 鬼ごっこ	岩谷 純子 (マ・海津)
勢ぞろい 数に限りの 除夜の鐘	上田 えみ (マ・浦)
蠟梅の ほのかな香りに 酔心地	久保井とく (マ・寺久保)
初冬の彩 漣光る 湖日和	松山八夜夷 (今・今津)
青空の 一角黒く 時雨降り	赤塚 光恵 (安・下古賀)
闇僚の 失言残し 年明けける	岸田 金子 (安・田中)
年の暮 今年も無事で 年賀書き	土井登美雄 (安・三尾里)
大晦日 今年も御世話に 成りました	土井 久恵 (安・三尾里)
「変」さりて 早くおいでよ 幸と福	福井 良 (安・西万木)
頼もしく 育ち年越す 地域の子	北坂 修 (高・武曾横山)
雪景色 一羽の鳥が 空に舞う	坂尾 眞一 (新・旭)
立春と 曆記すも 戻り雪	井上 善三 (今・浜分)
苦勞仕来 亡き父親に 此のおせち	講殿 よね (安・四津川)
丑年に 食の安全 願いつつ	川本 一男 (安・北船木)
初参り 晴着泣かすは 雪の道	石田 三造 (新・深溝)
孫の手に 落ち葉あふれる 散歩道	西川マサエ (今・今津)
新年の 挨拶今年は 数増える	平井 弘美 (安・長尾)

★投稿方法

郵便またはEメールで、投稿者氏名・住所・連絡先を書き添えて投稿してください。また、応募は一人1点とし、作品や氏名には必ずふりがなをお願いします。次回締切は2月28日、掲載は4月1日号・5月1日号です。

(秘書広報課)



「こころの絆」

「お父さんお母さんへの手紙」

入賞作品

優秀賞

「そうじをする理由」

北川 優輝 (高島市) 14歳

僕のお父さんは家にいる時、あまり動きません。休日は、どちらかといえばテレビを見て「ココロ」している事が多いです。世の中には、家事を夫婦で分担してやっている家も少なくないと思います。でも、僕のお父さんはしません。お母さんが掃除をしようとしても面倒くさそうに部屋を移動するだけです。でも、仕事の事になるとちがいます。本当なら休みのはずの日に、お客さんの家に行ったりします。また、会社の周りに草が生えると草刈ったり、冬には雪かきをしに行ったりします。僕はその事が不思議でした。休みの日にお客さんの家に行ったり、草を刈ったりしても給料が増えるわけでもないのにそこまで仕事をするのか。僕だったら、仕事だけじゃなくて家事を手伝ったり、家族をどこかに連れて行ったりすると思います。僕は「仕事ばかりしていないで、家の事も考えてほしい」とずっと思っています。

半年ぐらい前の日曜日に、僕が家にいるとお父さんに呼ばれました。僕は言われるがままにほうきや、ごみ袋を車に積まされて、車に乗りました。行き先は言われなかったけれど、僕は、また会社のそうじに行くんだらうと思って

いました。予想は的中して、僕はそうじを手伝わされました。草を取ったり、落ち葉を集めたりしていると、お父さんがジュースを僕に渡してくれました。そうじした所を見ながらお父さんが、

「また草刈らなあかんなあ」

と言っているのを聞いて、

「別にお父さんがしなくてもいいと思っけよ」

と言いました。すると、お父さんは、

「だれかがせなあかんやろ。それに、会社の周りがきたないとお客さんが来んやろ」

と言いました。僕はそれを聞いてある事を思いました。会社のお金が少なくなるとお客さんが来なくなる。すると、会社のお金が少なくなると給料が減らされる。僕はその時、大切な事を忘れていたと気づきました。お父さんが休みの日にまで仕事をしているのは僕や、家族のためだということに忘れていたのです。僕が物を買ったり、学校へ行ったりできるのも、お父さんが働いて、お金をかせいでくれるからです。そんな大切な事をいつの間にか忘れていました。僕はお父さんが休みの日にまで仕事をしている理由がわかって、お父さんに感謝しなければいけないと思いました。

僕は今でも、その日気づいた事を忘れていません。僕や家族のために今日も仕事をしていてくれるお父さんにとっても感謝しています。

作品集ができました

藤樹先生生誕400年祭を記念して募集した「こころの絆～お父さんお母さんへの手紙～」。ついにその作品集ができました。読むことで深まる思い、伝えたい気持ちを感動とともにお届けします。この機会にぜひお求めください。

高島志ブックレット3

「こころの絆 お父さんお母さんへの手紙」

- ▼内容 入賞作品18篇を収録
- ▼価格 1冊500円 (郵送の場合は別途送料が必要)
- ▼販売場所 近江聖人中江藤樹記念館、道の駅 藤樹の里あどがわ 図政策調整課 ☎(25)8114

あなたの店や事業の広告を出しませんか? 秘書広報課 ☎(25) 8130

募 告 集

広 報 誌

- 掲載料 10,000円/1枠(1か月1発行号限り)
- 4月1日号締切 2月25日(水)

ホームページ

- 掲載料 1か月15,000円
- 4月掲載分の締切 3月10日(火)

「みてねっ!」ニュースの最終画面に掲載主の社名表示付き!